令和６年度福井県立科学技術高等学校　学校関係者評価書

（意見を聞いた方）PTA 会長、副会長、総務広報委員長　（計６名）

１教育課程・学習指導・研修

・約 10%の生徒が授業の進み具合に不満を持っており、特に速く感じる生徒には補習等の機会を設け授業についていけるようにしてほしい。
・授業の進度や課題提出に関しては例年より評価が低いが良好だと伺える。授業内容は C,D 評価の生徒（「理解」はできるが「納得」が出来ていない）が 60%ほどいるので対応をお願いしたい。
・保護者,教職員の認識よりも生徒の評価が低い。「おおむね」は幅が広いので評価項目の見直しを。
・授業の理解度に対して教職員や保護者が思うよりも生徒が低い。習熟度だけでなく自己肯定感の低さも影響しているのかもしれない。レポートや課題の提出に重きを置くだけでは理解したとはいえない。
・検定の実施日や受験料、合否等、子から聞き出すのではなく確実に保護者に伝わる手立てがほしい。

２生徒指導

・校則遵守は大人になって法令遵守の観点からも強く指導していただきありがたい。
・男子の頭髪は、ツーブロックが OK に見直された中学校もある。清潔感があればよいのではと思う。
・部活動は個人や家の都合で全入は難しい部分もあるが引き続き働きかけ、加入率の維持が必要か。
・生活習慣においては保護者の意識が下がり放任や無関心を招いている。親子間の報･連･相をメールシステムを活用し情報共有することから始めたい。

３進路指導

・進学・就職の両面にわたり懇切丁寧にアドバイスがあり、子供らが自身の将来について真剣に向き合えていることはすばらしい。また企業の講演や進路ガイダンスがあることも良い。
・先生方のおかげで多くの生徒が面接や選考試験において、自信をもって対応できていると思う。
・進路説明会で講師を招き、志望理由書の書き方についての話があったがとても良かった。
・生徒保護者ともに約 95%と高い評価となっている。生徒の希望が叶うよう導いていただきたい。
・学校の取り組みや発信内容は保護者に十分伝わっており、子供も早い段階から進路について考えている。性格診断を行ったことで自己分析と適性を理解するヒントが得られたと思う。

４保健管理

・大人が思う以上に子供には大きな悩みがあるかもしれない。それを吐露できる環境は今後も必要。
・子供が気軽に安心して相談できる環境づくりに対し、教職員の傾聴の姿勢が 100%。卒業後も相談に来る生徒もいると聞き、そのような関係性を築けることは素晴らしいと思う。
・月１回のアンケート実施は非常にありがたい。親ではない身近な大人として継続していただきたい。
・生徒よりも教職員･保護者の方が感染意識が低下している。生活指導同様、継続した意識付けは必要。

５保護者との連携

・学校と保護者の連携について多くの保護者からの理解をいただいていることは大変誇らしく、役員の皆様のおかげであると思う。
・学校行事に対し保護者の関心が薄く感じる。HP の今月の予定をできるだけ早く更新してほしい。学級通信なども負担はあるだろうが出して頂ければ有難い。あんしんメールも最大限に活用してほしい。
・昨年からコロナ前の PTA 活動に戻り、全ての保護者の見学や参加が叶い学校を身近に感じ、知る機会が増えた。広報誌でも今年度は PTA 活動を宣伝し、負担ではなく楽しいものだと PR することができた。

６図書指導

・朝読書週間は今後も継続をしてほしい。個人的には生徒が新聞を読む機会もあったらよいと思う。
・高校生の読書離れが進んでいるが本校も同様、興味を持つような提案が必要。
・既に実施されているかも知れませんが、図書視聴覚を利用するガイダンスなどを試みてはどうか。
・１年の図書オリエンテーションのように 2.3 年時にも図書室を利用する授業があって良いと思う。

○総括

・学校評価アンケートでも各項目でほぼ目標値を達成しているが、この学校の魅力はもっとたくさんあると思うので、広報誌や各種イベントを通してそれを発信してほしいと思います。
・学校評価アンケートでは保護者の評価が全体的に高く、検定や資格取得、各種コンテスト等の面で満足のいく結果となっており、十分に指導いただいた結果だと思う。
・PTA 活動に参加できてよかった。もっと多くの保護者に関心をもって参加してもらいたい。